

ドル円、一時 136 円台半ばまで上昇

GLOBAL MARKETS RESEARCH

チーフアナリスト 井野 鉄兵

アナリスト 平松 誠基

三菱 UFJ 銀行

A member of MUFG, a global financial group

令和 4(2022)年 7 月 11 日

前営業日の市況

ドル円は 135.94 で寄り付いた。正午前に安倍元首相が銃撃されたとの報道を受けて市場心理が悪化すると、安値 135.33 まで下落する場面がみられた。その後は 135 円台後半まで値を戻すも、6 月の米雇用統計を控えて様子見ムードが強まり、136 円を前に上値を抑えられた。その米雇用統計では、非農業部門雇用者数や平均時給が市場予想を上回る結果となった。FRB の利上げ観測が強まり、米金利が上昇するなか、ドル円は高値 136.56 まで上昇した。米株価が下落すると、ドル円は一時 136 円を割り込むも、米株価の持ち直しに連れて幾分値を戻し、136.12 で引けた。（平松）

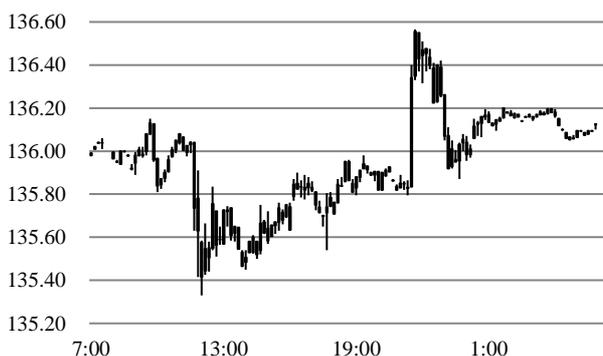
本日のポイント

週末発表の米雇用統計は雇用者数増減と平均時給が市場予想を上回った。労働市場のひっ迫は続いていることが確認され、目先の景気後退懸念は後退。7 月 FOMC での利上げ幅は 75bp となるのが濃厚と言え、ドル円相場は 136 円台での推移が継続しよう。一方、参議院議員選挙は自民党が単独過半数を確保する大勝を収めた。概ね下馬評通りと言える。財政、金融政策の動向は注目されるが、円安、物価高対策の策定は秋以降とみられており、ひとまず週明けの為替市場への影響は限定的だろう。（井野）

本日のディーラー予想

ドル円	ユーロドル	ユーロ円
135.60~136.60	1.0100~1.0250	137.80~139.30

前営業日のドル円相場推移



直近1年のドル円相場推移



(出所) グラフは Bloomberg EBS、文中の為替データは弊行 4 本値

市況データ

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/JPY	135.94	136.56	135.33	136.12
EUR/USD	1.0169	1.0191	1.0072	1.0186
EUR/JPY	138.24	138.69	136.88	138.60
GBP/USD	1.2025	1.2055	1.1920	1.2032

	終値	(前日比)
日経平均	26,517.19	+ 26.66
ユーロストック 50	3,506.55	+ 18.05
FTSE100	7,196.24	+ 7.16
ダウ工業	31,338.15	- 46.40
ナスダック	11,635.31	+ 13.96
上海総合指数	3,356.08	- 8.32
CRB 商品指数	287.75	+ 2.67
WTI 原油先物	104.79	+ 2.06
金先物	1,742.30	+ 2.60
VIX 指数	24.64	- 1.44

	2年	(前日比)	10年	(前日比)
日本国債	-0.069 %	-0.005 %	0.244 %	-0.004 %
独国債	0.527 %	-0.031 %	1.345 %	0.027 %
米国債	3.109 %	0.092 %	3.082 %	0.085 %
英国債	1.930 %	0.103 %	2.233 %	0.105 %

	終値	(前日比)
無担保コール O/N	-0.008 %	+ 0.002 %
ユーロ円金利先物	99.990 p	+ 0.000 p
TONA 複利(後決め)6ヵ月	-0.01849 %	+ 0.00000 %
円-TIBOR6ヵ月	0.13636 %	+ 0.00000 %
米国 FF Rate	1.58 %	+ 0.00 %
米国 TB3ヵ月	1.8841 %	+ 0.0253 %
USD-LIBOR6ヵ月	3.04843 %	- 0.00771 %
EURIBOR6ヵ月	0.32200 %	+ 0.08400 %
SONIA 複利(後決め)6ヵ月	0.67650 %	+ 0.00550 %

※「米国 FF Rate」のみ as of 7月7日、「TONA 複利(後決め)6ヵ月」は as of 2022年1月10日(7月8日と不変)、「SONIA 複利(後決め)6ヵ月」は as of 同年1月11日(7月8日と不変)

(出所)為替のデータは弊行4本値、その他のデータは Bloomberg

※OPENは日本時間午前9時、CLOSEは日本時間翌日午前7時。
(米国夏時間は日本時間翌日午前6時)

前営業日の主な経済指標等

時刻	地域	経済指標	予想	結果
8:50	日	経常収支(5月・億円)	1,720	1,284
14:00	日	景気ウォッチャー調査-現状(6月)	55.0	52.9
14:00	日	景気ウォッチャー調査-先行き(6月)	53.6	47.6
21:30	米	非農業部門雇用者数変化(6月・万人)	26.5	37.2
21:30	米	失業率(6月)	3.6%	3.6%
21:30	米	平均時給(前年比、6月)	5.0%	5.1%
4:00	米	消費者信用残高(5月・億ドル)	309.00	223.47

本日の主な経済指標等

時刻	地域	経済指標	予想	前回
8:50	日	機械受注(コア、前月比、5月)	▲5.5%	10.8%

時刻	地域	イベント
17:00	ユ	イタリア中銀ビスコ総裁講演
19:00	ユ	エストニア中銀ミュラー総裁講演
20:55	ユ	ラガルド ECB 総裁講演
0:00	米	ニューヨーク連銀ウィリアムズ総裁講演
1:45	ユ	フランス中銀ビルロワドガロー総裁講演

時刻	地域	イベント
	日	黒田日銀総裁挨拶(支店長会議)
23:15	英	ベイリー-BOE 総裁議会証言
1:30	ユ	独連銀ナーゲル総裁講演
2:00	米	3年物国債入札
3:00	米	ニューヨーク連銀ウィリアムズ総裁討論会参加

※時刻は東京時間、市場予想は Bloomberg 調査中央値

照会先：三菱 UFJ 銀行 グローバルマーケットリサーチ シニアアナリスト 亀井 純野

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。

当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。

当行は、当資料において言及されている会社と関係を有し、又はかかる会社に対して金融サービスを提供している可能性があります。当行のグループ会社は、当資料において言及されている証券又はこれに関連する証券について権利を有し、又はこれらの証券の引受けを行っている可能性があります。また、これらの証券又はそのポジションを保有している可能性があります。

当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。

(株式会社三菱 UFJ 銀行 ロンドン支店 のみに適用される情報開示)

株式会社三菱 UFJ 銀行 (以下「MUFG Bank」) は、日本で設立され、東京法務局 (会社法人等番号 0100-01-008846) において登記された有限責任の株式会社です。

MUFG Bank の本店は、東京都千代田区丸の内二丁目7番1号 (郵便番号 100-8388) に所在しています。

MUFG Bank ロンドン支店は、英国会社登録所において、英国支店として登録されています (登録番号 BR002013)。

MUFG Bank は、日本の金融庁によって認可及び規制されています。MUFG Bank ロンドン支店は、英国ブルーデンス規制機構より認可を受けており (FCA/PRA 番号 139189)、英国金融行為監督機構の規制とブルーデンス規制機構の限定された規制の対象となっています。英国ブルーデンス規制機構による MUFG Bank ロンドン支店の規制の範囲の詳細は、ご請求いただいた方にお渡ししております。